Barthel Index | 採点ガイド

100点版 / 食事・移乗・整容・トイレ・入浴

本資料は100点版の学習・記録補助資料です。公認翻訳・公式評価票ではありません。採点表は参考資料1の日本語表に統一。歩行器の扱いは版により異なります。正式な評価・制度提出は指定の原票と手順で確認してください。

01 食事

点	判定の要点
10	食べる一連の動作が自立。自助具の使用は可。
5	切り分けなど、一部の手助けが必要。
0	全面的な介助が必要。

02 移乗

点	判定の要点
15	ベッドと椅子間の移乗が自立。車椅子の操作も含む。
10	見守り、声かけ、または軽い身体介助が必要。
5	座位は保てるが、移るには大きな介助が必要。
0	全面介助、または移乗できない。

03 整容

点	判定の要点
5	洗顔・整髪・歯磨き・必要なひげ剃りが自立。
0	いずれかに介助が必要、または実施できない。

04 トイレ動作

点	判定の要点
10	便座への移動、衣服の上げ下げ、後始末が自立。
5	一連の動作の一部に手助けが必要。
0	全面介助、または実施できない。

05 入浴

点	判定の要点
5	身体を洗う動作を含め入浴が自立。
0	一部でも介助が必要、または実施できない。

参考資料1・2。説明は要約です。原票の文言・評価条件を併用してください。

Barthel Index | 採点ガイド

100点版 / 移動・階段・更衣・排便・排尿

本資料は100点版の学習・記録補助資料です。公認翻訳・公式評価票ではありません。採点表は参考資料1の日本語表に統一。歩行器の扱いは版により異なります。正式な評価・制度提出は指定の原票と手順で確認してください。

06 歩行・車椅子移動

点	判定の要点
15	45m以上を自立歩行。採用表では歩行器・車椅子を除く補装具は可。
10	45m以上の介助歩行、または歩行器を使用。
5	歩行できないが、車椅子を45m以上自分で操作できる。
0	上のいずれにも該当しない。

07 階段昇降

点	判定の要点
10	上り下りが自立。手すりは使用可。
5	見守りや身体介助が必要。
0	昇降できない。

08 更衣

点	判定の要点
10	衣服・靴・留め具・必要な装具の着脱が自立。
5	介助は必要だが、半分以上を自分で行う。
0	自分で行える部分が半分未満など、上記以外。

09 排便コントロール

点	判定の要点
10	失禁がなく、必要な坐薬・浣腸の扱いも自分で行える。
5	ときに失禁、または坐薬・浣腸の扱いに介助が必要。
0	上記以外。

10 排尿コントロール

点	判定の要点
10	失禁がなく、必要な収尿器等の管理も自分で行える。
5	ときに失禁、または収尿器等の管理に介助が必要。
0	上記以外。

参考資料1・2。説明は要約です。原票の文言・評価条件を併用してください。

Barthel Index | 評価記録

氏名・ID：_____ 評価日：_____ 評価者：_____

場所：_____ 観察期間：_____ 使用した版・原票：_____

情報源：本人 / 家族 / 看護・介護職 / 直接観察 補装具：_____

項目	選べる点数	今回	具体的な介助・条件
食事	10 / 5 / 0	___	_____
移乗	15 / 10 / 5 / 0	___	_____
整容	5 / 0	___	_____
トイレ動作	10 / 5 / 0	___	_____
入浴	5 / 0	___	_____
歩行・車椅子移動	15 / 10 / 5 / 0	___	_____
階段昇降	10 / 5 / 0	___	_____
更衣	10 / 5 / 0	___	_____
排便コントロール	10 / 5 / 0	___	_____
排尿コントロール	10 / 5 / 0	___	_____

合計：_____ / 100点 未評価項目：_____

未評価を0点と置き換えて合計しない。全項目確認後に総点を算出。

次回までに変えたい生活場面

_____

_____

同じ用具・環境・観察期間で比較し、変えた条件は明記する。

Barthel Index | 経過と共有

項目	初回 /	再評価 /	変化・介助内容
食事	___	___	_____
移乗	___	___	_____
整容	___	___	_____
トイレ動作	___	___	_____
入浴	___	___	_____
歩行・車椅子移動	___	___	_____
階段昇降	___	___	_____
更衣	___	___	_____
排便コントロール	___	___	_____
排尿コントロール	___	___	_____
合計 /100	___	___	_____

記録例（架空）

BI 65/100。移乗10点：ブレーキ操作に声かけが必要。歩行10点：杖で45m以上、側方見守りあり。トイレ5点：下衣操作を介助。得点だけでなく、必要な援助と実施条件を共有。

参考資料・扱い

日本語採点表の基準：厚生労働省公開資料「シャルコー・マリー・トゥース病」4ページのBarthel Index表。疾患固有の85点基準は本記事に適用しない。
https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000064383.pdf
英語版と評価原則：Shirley Ryan AbilityLab公開 Barthel Index / Guidelines。
https://www.sralab.org/sites/default/files/2017-07/barthel.pdf
尺度の特徴・利用条件：Shirley Ryan AbilityLab. RehabMeasures Database: Barthel Index.
https://www.sralab.org/rehabilitation-measures/barthel-index
制度利用時の確認：厚生労働省「科学的介護」：BI評価方法・LIFE関連資料。
https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000198094_00037.html
原著：Mahoney FI, Barthel DW. Functional evaluation: the Barthel Index. Md State Med J. 1965;14:61-65. 商用利用・翻訳・改変の条件は権利管理窓口で確認。独自の記録欄・説明を追加した補助資料。確認日：2026-11-04。